

平成29年度 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

・未来を担う健康でたくましいふくしまっ子

子供たちの未来に生きる体力、子供たちが未来を創れる体力を創出！

H30 全国体力・運動能力調査
における全国平均を上回る！

H32 肥満傾向児の出現率を
全国並にする！

これまでの取組

- ◆ 基盤事業として、「児童生徒の体力向上推進事業」を継続しているが、震災等の影響に特化した取組
- ◆ 健康・体力の現状等を常に意識させる仕組み作り
- ◆ 運動の楽しさ等を発達段階に応じて体感させる指導
- ◆ 実態を踏まえた食育の推進

解決に向けて

【健康課題】

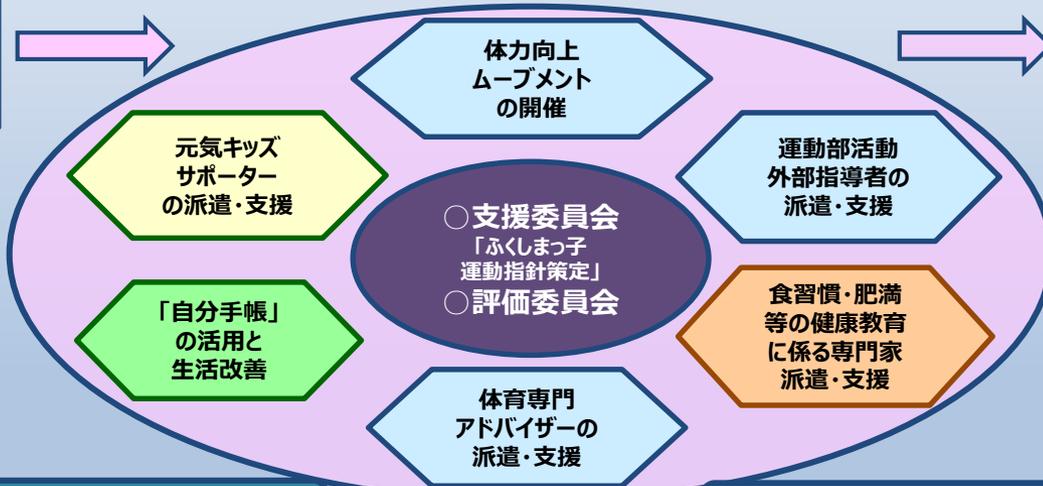
- 小5女子以外で体力合計点が全国平均を下回る
- 全年齢で全国の肥満傾向児の出現率を上回る
- 運動に関する関心や意欲が希薄
- 生活環境の変化に伴う食習慣の乱れ

小学生

中学生

高校生

より効果的な「自分手帳」の活用と専門性の高い人材の派遣・支援を核とした事業の展開！



・運動に挑戦する子ども

・運動と健康の関係、食の重要性に気づく子ども

・自分の個性に気づき、自分を磨く子ども

・より高い目標に挑戦する子ども

・体力向上・教科指導・武道安全指導等の指導力を高める「小・中・高等学校体育担当者連絡協議会」の開催

教員の資質向上

・学校における肥満対応ガイドラインの活用による「肥満に関する健康相談・個別の保健指導担当者研修会」の開催

1 遊びや運動を提供する「元気キッズサポーター」の派遣(就学前～小学校下学年)

- ・ 原発事故時幼小期で多様な運動経験に恵まれなかった幼児・児童に、運動の楽しさや喜びに触れさせ、運動意欲を喚起する。

2 「自分手帳」の活用と生活改善(モデル校方式)

- ・ 「自分手帳」の効果的な活用場面や方法を検証する。(人材派遣)
- ・ 運動に係るデータ収集・解析を実施する。(可視化機器導入)

3 体育の授業への「専門アドバイザー」の派遣(小学校)

- ・ 本県独自の「運動身体づくりプログラム」の授業導入の徹底と新体力テストの正しい実施方法、分析や・結果の活用等について助言・支援する。

Fukushima Future Strength

6つのプロジェクトを
一体的に展開！



4 「体力向上ムーブメント」の開催

- ・ 「元気わくわく遊びの楽校」や「体力・健康優秀校等表彰」(体力向上・食育推進)、「ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト」(社会教育課)等のイベントにより、体力向上の啓蒙・啓発を図る。

5 「運動部活動への外部指導者」の派遣(中・高等学校)

- ・ 専門的な指導を行うための人材を派遣し、指導力や支援体制を強化する。

6 食習慣、肥満等の健康教育に係る「専門家」の派遣

- ・ 学校に医師やトレーナー、栄養教諭、栄養士等の専門家を派遣し、肥満解消や健康課題の解決に向けた全体指導や個に応じた健康相談等を実施する。